

# 雲取山

メンバー 吉川、加藤

2016年5月17日(火) 雨

自宅6:00 戸塚駅6:36 新宿駅7:25 立川駅8:11 青梅駅8:44

奥多摩駅9:22 (タクシー¥5770) 小袖乗越(登山口)10:10 堂所11:35-45

七ツ石小屋12:30-45 七ツ石山13:10 ブナ坂13:25 ヘリポート13:50

雲取山14:45 雲取山荘15:20 (割引きありで¥7000)

5月18日(水) 晴

雲取山荘5:45 雲取山6:15-25 三条ダルミ6:50 三条の湯8:25 林道9:00

塩沢橋10:00 お祭り11:10 留浦(とずら)11:47 奥多摩駅12:20-13:17

新宿15:00 戸塚15:40 自宅16:10

雨の奥多摩駅に降り立つと、登山客でごった返している。ツアー会社の団体さんのようだ。雨でも中止はないのだろう。コースや宿泊先も同じのようだ。宿泊予定地(三条の湯)での混雑を避けるため、予定を変更し鴨沢から登ることにする。タクシーで鴨沢上の小袖乗越の登山口まで行く。駐車スペースがあり休日には車でいっぱいになるそうだ。ここで登山準備。三条の湯へ予約キャンセルの電話を入れ、雲取山荘へ宿泊予約の電話を入れる。雨具を付け出発。整備された登山道に行く。

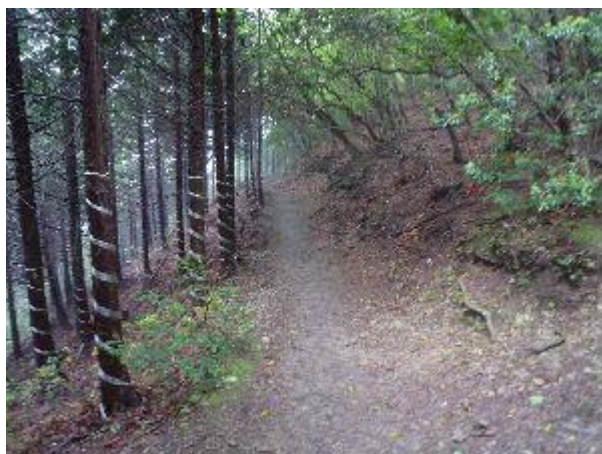


(雨具をつけ出発)



(民家もあるね)

静な登山道をゆっくり登る。やがて堂所に到着。昔「丁半」賭博をやったというところだ。



(静かで歩き易い登山道)



(堂所)

ここからやや登り勾配も増して登山道らしくなる。途中から七ツ石小屋から七ツ石山へのルートを取り、七ツ石小屋脇で小休止。昼食を摂る。



(七ツ石小屋)



(七ツ石山へ向かう)

七ツ石山へ向かい、尾根道の登山道に出る。広く登山道を行くと七ツ石山だ。



(尾根道に出ました)



(七ツ石山)

ここから広い登山道と行くとブナ坂に出る。



(ブナ坂)



(ブナ坂。左が七ツ石山、右が鴨沢方向)

アップダウンを繰り返し、広い道を行くと遭難救助用のヘリポートが現れる。五十人平だ。キャンプ地となっており、数張りのテントがあった。若い人がキャンプしている。その先に奥多摩山小屋がある。



(ヘリポート)



(キャンプ地)

ここからきつい坂を登り、ピークを越え、雲取山頂に到着。残念ながら視界はない。明日に期待だ。付近には立派な避難小屋があり、きれいなトイレも完備している。



(雲取山頂で自撮り)



(山頂避難小屋)

ここから雲取山荘へ向かう。しばらく下って、雲取山荘に到着。共済保険カードを見せると割引され一泊2食付きで¥7000だ。しかも雨のため客が少ないせいか二人で一部屋貸し切りだ。こたつもありとっても温い。自動販売機がありビールで乾杯。食事も満足（登山客が40～50人位いるね）。



(雲取山荘に到着)



(こたつがあるよ。温い)

翌朝、朝早い登山客の物音に起こされ、早速空を見ると快晴だ。部屋から日の出が望める。



(日の出です)



(少し拡大しました)

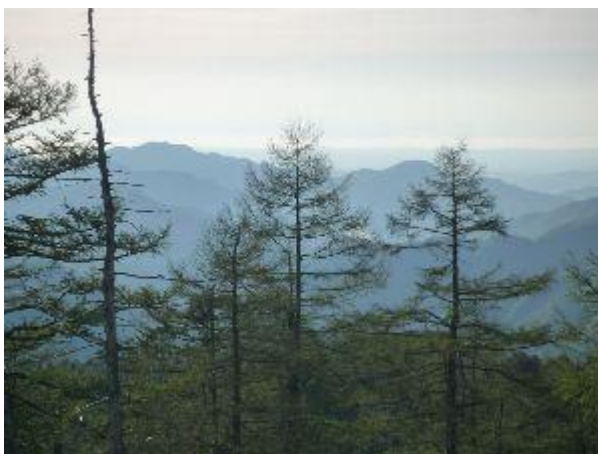
朝食後雲取山荘を5時45分に出発。雲取山へ再度登る。  
山頂は昨日とは打って変わって快晴だ。周囲の山々も良く見えるね。



(山頂での記念撮影)



(富士山も大きく見える)



(川苔山と本仁田山)



(雲海の先に丹沢山脈が見える)



(金峰山かな???)



(南アルプス方向)

ここから三条の湯を目指し急な下りになる。風がやや冷たい。やがて三条ダルミに到着。



(三条ダルミ)



(ここで小休止)

ところどころ登山道が壊れているところがあるが、比較的よい登山道を下りやがて三条の湯に到着。



(ところどころ、ミツバツツジが咲いている)



(三条の湯に到着)

ここから長い林道をひたすら歩く。



(林道の始まり)



(国道411号線の合流点)

お祭りのバス停でバス時間を確認。次のバスが13:48で2時間以上もあるため、鴨沢まで行き、さらに確認することにする。鴨沢にてバス時間を確認しても約2時間の待ち時間だ。がっかりしていると時刻表の注意書きの項に約700m先の留浦(とずら)バス停から11:47のバスがあることがわかる。あと7分しかないが行くことにする。最後は走って無事奥多摩駅のバスに乗りことができた。奥多摩駅前にてビールで乾杯し昼食を摂り山行の無事を祝った。